

# 議会 施政方針

五條市長 吉野 晴夫



平成20年第1回定例会が3月3日に開会され、同6日に吉野市長が平成20年度の施政方針を発表しました。

本日ここに、平成20年度予算案をはじめ多数の重要案件を提案して、ご審議をお願いするにあたり、新年度における重点施策を中心に所信を申し上げ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

## 行財政改革

まず最初に、平成20年度の最重要施策である「行財政改革」の取り組みについて申し上げます。平成18年度から行財政改革の推進を最重要課題と位置付け、「五條市新行政改革大綱」および「五條市集中改革プラン」を策定し、補助金、委託料、普通建設事業など、すべての事務事業について、見直しを行ってまいりました。平成20年度におきましても、引き続き、機構改革をはじめとして、職員定数の大幅な削減、都市公園を含む3施設の指定管理者制度の導入、土地開発公社健全化等、様々な改革に取り組み、その成果が期待されるところであります。

また、財政健全化計画に基づき、平成19年度から平成21年度までの3年間に限り、年利5パーセント以上の事業債の借り換えが国で認められ、これにより3年間の借り換え額は、一般会計で4億3,000万円、簡易水道事業で7,000万円、下水道事業で16億円および下水道事業で7億6,000万円、合計28億6,000万円を予定しております。その財政効果額は6億円を見込んでおります。

更に、平成20年度におきましては、現在、試行的に実施しております725の事務事業評価に加え、施策レベルからの評価

も取り入れ、限られた財源、人材等の資源を有効に活用する行政評価システムを構築することにより、改革を着実なものにすると共に、市民の視点に立った簡素で効率的な行政経営を目指して、徹底した行財政改革を断行してまいります。

## 新五條市総合計画

次に、将来のまちづくりを進める上で最も基本となる「新五條市総合計画」につきましては、平成18年度から計画策定業務に鋭意取り組んでいるところであり、平成20年度におきましても、継続して審議を行い、市民の誰もがここに住んで良かったと、実感できる五條市の指標となる計画を策定してまいります。

## ケーブルテレビ整備事業

次に、「ケーブルテレビ整備事業」の取り組みについて申し上げます。この事業は、平成23年7月から完全移行する地上デジタル放送への対応並びにインターネット環境の地域情報格差是正を目的としております。事業の進め方といたしましては、国の交付金や県補助金の財政支援を賜りながら、これまでケーブル株式会社を活用した事業の実施を予定しており、4月から加入率90パーセント以上の確保を目指し、地域住民への説明会を計画しております。

今後は、行政と地域住民が一体となった事業として取り組んでまいりたいと考えております。

## 携帯電話の通信エリア拡大

次に、「携帯電話の通信エリア拡大」への取り組みにつきましては、携帯電話等の移動通信サービスの利用可能な地域を拡大し、地域住民の利便性の向上や社会経済活動の活性化を図ってまいりたいと考えております。とりわけ高齢者が多い山間地域などにおける緊急事態等への対応を考えますと、地域間の情報通信格差の是正が非常に大切であり、今後も、民間通信事業者に対して通信エリア拡大の要望活動を積極的に行ってまいります。

## 公共交通対策

次に、「公共交通対策」の取り組みについて申し上げます。昨年11月の地域公共交通会議における再編計画に基づき、4月から路線バスが休止となる地域におきましては、デマンド方式の乗合タクシー並びにへき地患者輸送車を活用した代替交通を運行してまいります。また、大塔地区のふれあいバスにつきましても、デマンド方式による有償運行を予定しております。

これに伴いまして、五條市生活バスの運行に関する条例の制定について、今議会でご審議をお願いするものであります。今後も引き続き、地域住民、特に高齢者や児童・生徒など交通弱者に配慮した、生活交通のあり方について検討してまいります。

## 陸上自衛隊駐屯地の誘致

次に、「陸上自衛隊駐屯地の誘致」につきましては、これまで